

広島市代表団のドイツ・ハノーバー市派遣結果について（帰国報告）

1 概要

本市とハノーバー市は、昭和 58 年（1983 年）の姉妹都市提携以来、青少年交流、平和、経済、文化など幅広い分野での交流を積み重ねてきた。

平成 25 年度（2013 年）は、姉妹都市提携 30 周年の節目を迎えることから、両市の友好親善の一層の促進を図る契機とすることを目的に、ハノーバー市で開催される記念行事等に参加するため、本市代表団を派遣した。

なお、5 月 9 日から 12 日までハノーバー市において独日協会連合会総会と関連行事が開催されることから、同市よりこの時期の訪問を求められたものである。

2 代表団の構成（8 名）

松井市長
種清議長
山田議員
ヒロシマ・メッセンジャー 2 名
随員職員 3 名

3 訪問日程

平成 25 年 5 月 8 日（水）～ 14 日（火）4 泊 6 日（詳細については 7 ページ参照）

時期を合わせて、ハノーバー市と交流を行っている広島の友好団体から 7 名の市民訪問団が参加した。

4 主要用務と成果

(1) 5 月 10 日（金）

ア 独日協会連合会年次会合への出席

ドイツにおいて、文化事業など日独間の交流の促進を行っている独日協会約 50 団体が加盟する連合会の総会が、ハノーバー市で開催された。総会行事のうち、独日協会会員だけでなく、開催地の要人等も参加する「年次会合」に、本市代表団が参加した。



ゴルフ前ドイツ連邦大統領による講演

会場となったハノーバー市庁舎のホドラー・ホールには約 100 人の参加者が集い、シュトラウフ・ハノーバー市長代理、フォンドラン独日協会連合会長、シャート独日協会ハノーバー茶道会会長等の挨拶に続いて、松井市長が挨拶を行い、本市とハノーバー市

の30年間の交流の実績を披露するとともに「姉妹都市交流を深め、友好親善の礎になっているのは両市の市民です」と述べた。年次会合では、外務省の城内（きうち）政務官が「日本の現状と日独関係」をテーマに、ヴルフ前ドイツ連邦大統領が「独日関係のポテンシャル」をテーマに、講演を行った。

イ シュプレングル美術館視察

ハノーバー市を代表する美術館であるシュプレングル美術館を訪問した。クレンペル館長の案内により、現代美術の常設展の主要作品を中心に解説を受けた。

広島市現代美術館は、平成元年(1989年)5月から6月にかけて開館記念となる「シュプレングル美術館名品展」を開催した。このとき出展されたピカソ、ロマン、ノルデなどの作品も鑑賞することができた。

また、同館における収蔵作品の保管のための新館増設計画について、立体模型等や設計図により説明を受けた。



シュプレングル美術館で説明を受ける松井市長

ウ シュトラウフ市長代理主催レセプション

ハノーバー市庁舎モザイクホールにて、独日協会連合会参加者を対象とするレセプションが行われた。本市代表団及び市民訪問団も参加し、本市との交流事業に関わるハノーバー市職員、同連合会の方々と広島との交流を行っている友好団体役員との交流を行った。



レセプションでの歓談風景

エ シュトラウフ市長代理・ハノーバー市議会議員との会談

ハノーバー市庁舎議会議室にて、市長代理及び市議会議員との会談を行った。広島市からは、代表団及び市民訪問団、ハノーバー市からは、シュトラウフ市長代理、市議会議員3名、文化局及び市長室職員5名が出席した。

議会議室の床には、ハノーバー市街図が描かれており、シュトラウフ市長代理がそれを見ながら、市内の主要な施設や産業、ハノーバー市域の60%が緑地又は湖や池などであることなど、ハノーバー市の概要を説明された。

このあと、市議会の議員構成や選挙制度、市政の課題、電車をはじめとする交通機関や文化・スポーツ施設について、広島市側から活発に質問が出された。ドイツでは、最近、全児童を幼稚園に通わせることを定めた法律ができたため、その受入体制を整える準備に苦心しているとの話も聞くことができた。

オ ヘレンハウゼン王宮庭園視察

独日協会連合会年次会合参加者と共に、市内北西部にあるヘレンハウゼン王宮庭園を訪れた。

同庭園は17世紀に造られた広大なバロック式庭園で、総面積は135ヘクタールに及

ぶが、このうち最も有名なグローサー・ガルテンを視察した。木立、噴水、花壇、彫刻が幾何学模様に配置されており、5月を迎えて一斉に咲き始めた花壇の花が美しいコントラストを生み出していた。

カ 駐ドイツ日本大使主催レセプション「日本の夕べ」

独日協会連合会年次会合プログラムとして、中根猛・駐ドイツ日本大使主催のレセプションが、約145名のもとで行われ、本市からは代表団及び市民訪問団が参加した。

松井市長は、フョンドラン独日協会連合会会長、シャート独日協会ハノーバー茶道会会長、シュトラウフ市長代理に続いて挨拶を行ったほか、酒樽の鏡割に参加した。また、松井市長を中心にベートーベンの「第九」の合唱も行われ、会場の一体感がかもし出された。

(2) 5月11日(土)

ア ハノーバー国際見本市会場視察

ハノーバー市中心部から南方約6kmの場所にあるハノーバー国際見本市会場を、本市代表団及び市民訪問団が視察した。

前日まで、世界最大の木工林業機械見本市「リグナ」が開催されていたが、当日はその片付けの最中であった。



国際見本市会場の視察風景

ドイツ・メッセ株式会社アジア・太平洋地域コーディネーター、ユリア・ツインペル氏他の案内により運営会社の概要や見本市の開催状況等について説明を受けながら、広大な施設の一部を視察した。

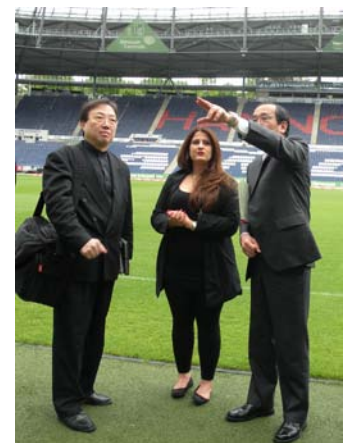
展示ホールは26、屋内の展示面積は466,000㎡という世界最大級の施設であり、同会場で開催される見本市の中で最も歴史が長く最大規模のハノーバーメッセ(産業見本市)では、5日間の会期に約23万人の来場者があるとのことであった。

イ AWDアリーナ(サッカースタジアム)視察

ハノーバー市中心部から西方約1.5kmの場所にあり、ドイツ・ブンデスリーガ一部リーグで活躍するハノーファー96のホームスタジアムであるAWDアリーナを、本市代表団及び市民訪問団が視察した。

運営会社であるハノーファー96のミハエル・ボーテ氏他の案内で、スタジアム内を視察し、施設の概要や特徴、利用状況などについての説明を受けた。収容人数は49,000人、ブンデスリーガの34試合を含め年間約40試合が行われているとのこと。

前身のスタジアムは、1954年に戦後のがれきを埋め立てた土地に建設され、2003年に大規模改修を行い、現在の施設に生まれ変わったとのことであった。



AWDアリーナの視察風景

ウ マリエンブルク城視察

ハノーバー王ゲオルク 5 世が、1858 年から 1867 年にかけてハノーバー南部の丘の上に建設したネオ・ゴシック様式の城で、精緻な手工芸が施された家具や食器のほか、銅製の調理用具が並ぶ台所など貴重な品々が数多く保存されており、王族の華やかな生活ぶりが伺える施設であった。

(3) 5月12日(日)

ア 姉妹都市提携30周年記念式典

ハノーバー市庁舎ホドラー・ホールにおいて、姉妹都市提携30周年記念セレモニーが開催され、本市からは、代表団及び市民訪問団が参加した。ハノーバー市からは、シュトラウフ市長代理及び市議会議員のほか、姉妹都市提携時の市長でありその後も長年本市との交流の推進に尽力されたシュマルシュティーク元市長、市の関係部局職員並びに多くの市民友好団体の方々が参加された。さらに、中根猛駐ドイツ日本大使も参加され、総勢約100人の出席のもと、おごそかな雰囲気の中で式典が進められた。

シュトラウフ市長代理の挨拶に続いて、松井市長と種清議長が挨拶した。松井市長は、挨拶の中で、ハノーバー市が平和市長会議設立の翌年、1983年に同会議に加盟し、また1987年から副会長都市として同会議の活動の推進に多大な貢献をされた都

市であることに触れ、両市が「14,000キロという距離と国境を超え、これまでも、また、これからも、非常に仲の良い友であり、ともに平和を目指していける友でもある」と述べた。種清議長は、本式典への招待に対する謝辞と30年間の交流に尽力された方々への感謝の言葉、また今後一層両市の絆が強まることへの期待を述べた。

続いて「友好関係を確認する覚書」に松井市長、種清議長、ハノーバー市のシュトラウフ市長代理及びドレファーマン議員の4名が署名を行った。この中で「姉妹都市提携の理念、すなわち、世界平和の確立に向けてともに献身し、相互の尊敬、信頼及び理解を深めるため、広い分野において交流の促進を図ること」への誓いを新たにした。

続いて、ヒロシマ・メッセンジャーの2名が、多くの画像や動画を駆使して広島市の魅力を伝えるプレゼンテーションを行った。観光名所や主要産業、文化、プロスポーツ、祭り、グルメなどの紹介に加えて、広島市民からのドイツ語での一言メッセージも織り込まれ、また、ウィットに富んだメッセンジャーの語りに、会場から時折笑いや拍手が沸き起こるほど盛り上がった。

この後、中根駐ドイツ日本大使の講演に続いて、ハノーバー市のゴールデン・ブック(芳名録)に、松井市長、種清議長、山田議員が署名を行った。

最後に両市の記念品交換を行い、拍手喝采の内に記念式典を終了した。



30周年記念セレモニーにおける市長スピーチ



「友好関係を確認する覚書」への署名



ヒロシマ・メッセンジャーのプレゼンテーション

イ エギディエン教会での「平和の鐘」打鐘、献花

第2次大戦で爆撃を受けて破壊され、戦争の惨禍のシンボルとして残されているエギディエン教会跡において、平和を祈るセレモニーが行われた。シュトラウフ市長代理、松井市長、ハイネマン・ハノーバープロテスタント教会会長が追悼の言葉を述べ、ベータ・フォン・シュットナー校の生徒6名が、福島原発事故や平和への思いを多くの生徒たちが書きつづったノートからメッセージを読み上げた。

続いて、シュトラウフ市長代理、松井市長、種清議長、山田議員が本市から寄贈した平和の鐘を打鐘した。シュトラウフ市長代理は「この鐘を打つ時はいつも、どれほど大きな音を響かせれば、世界の為政者に私たちの願いが届くのかと思いつつ打っている」と、また、松井市長は、「戦争犠牲者の追悼のため、今生きている私たちの平和のため、そして、子供たちの将来の平和のために、3度鐘を鳴らそう」と述べ、鐘が3回打ち鳴らされた。

最後に、シュトラウフ市長代理、松井市長、種清議長、山田議員が献花を行った。会場には多くの市関係者やハノーバー市民が参列に訪れ、心を合わせて祈りを捧げた。



「平和の鐘」の打鐘



本市代表団とシュトラウフ市長代理による献花

ウ 茶室「洗心亭」での茶会

1988年に広島市からハノーバー市へ寄贈し、その後シュタットパーク内へ移設された茶室「洗心亭」において、茶会が行われ、本市代表 団及び市民訪問団が参加した。

上田流和風堂からハノーバー市へ指導者として派遣されている中本洋世氏とお弟子さんたちのお点前により、お茶と母の日に因みカーネーションをイメージしたお菓子がふるまわれた。

シュトラウフ市長代理、クレマレック第2副市長、シャート独日協会ハノーバー茶道会会長も参加され、打ち解けた雰囲気の中、広島传统文化を楽しむ機会となった。



「洗心亭」での茶会風景

エ マッシュ湖遊覧と船上夕食会

ハノーバー市庁舎の南に位置し、散歩、ボート、サイクリング、スケートなどで、一年中多くの市民に親しまれているマッシュ湖（人工湖）の遊覧船において、最後の夕食会が行われ、本市代表团及び市民訪問団が参加した。シュトラウフ市長代理に続いて、山田議員が挨拶し、ハノーバー市滞在中の豊富な体験に触れ、ハノーバー市の方々に感謝の意を表した。

5 まとめ

- (1) 姉妹都市提携 30 周年という節目の年を迎え、これまでの両市の交流の積み重ねを互いに振り返るとともに、両市の代表者が、今回の記念式典を新たな出発点として、両市の友好関係を改めて確認することができた。

また、市民間及び行政間の幅広い分野での多様な交流、特に、戦災復興都市同士として平和の推進を中核とした交流に支えられてきた両市の強い絆は、これまでも、そしてこれからも変わらないものと、代表团メンバーはハノーバー市の関係者と共に確信することができた。

- (2) 今回のハノーバー訪問及び数々の行事への参加によって、シュトラウフ市長代理をはじめとする市幹部、市議会議員、さらに様々な友好団体の方々と、本市代表团メンバーが親しく交流し、大変親密になることができた。

特にシュトラウフ市長代理とは、松井市長は独日協会連合会年次総会や市庁舎内での会談、記念式典等の公式行事のほか、夕食会や昼食会など様々な場面で話をする機会に恵まれたことから、公私にわたる話題で意見を交換し、互いの理解を深めることができ、強い信頼関係を築くことができた。

- (3) 松井市長から、シュトラウフ市長代理に、本年8月に本市で開催する平和市長会議第8回総会に合わせ、是非広島市にお越しいただきたいと要請し、シュトラウフ市長代理は、その方向で調整したいとの意向を示された。シュトラウフ市長代理を始めとするハノーバー市代表団の本市訪問と平和市長会議総会出席が実現すれば、平和の推進を基軸とする両市間の相互理解と友好親善関係はさらに強まり、深化していくことが期待できる。



独日協会総会の合間に協議する松井市長とシュトラウフ市長代理



信頼を深めあった松井市長とシュトラウフ市長代理

広島市代表団の訪問日程

月日等	時 間	内 容
5月8日 (水)	(15:37)	広島駅発
	(18:20)	関西空港着
5月9日 (木)	(10:00)	関西空港発(フランクフルト経由)
	19:10	ハノーバー空港着
5月10日 (金)	9:00	独日協会連合会年次会合へ出席
	11:20	シュプレングル美術館視察
	13:00	ハノーバー市長代理主催レセプション
	14:00	シュトラウフ市長代理、市議会議員との会談
	16:15	ヘレンハウゼン王宮庭園視察
	19:30	駐ドイツ日本大使主催レセプション「日本の夕べ」
5月11日 (土)	9:50	ハノーバー国際見本市会場視察
	11:20	AWD アリーナ(サッカースタジアム)視察
	16:00	マリエンブルグ城視察
	18:00	独日協会送別夕食会
5月12日 (日)	11:00	姉妹都市提携30周年記念式典
	14:30	エギディエン教会での「平和の鐘」打鐘、献花
	15:30	茶室「洗心亭」での茶会
	18:30	マッシュ湖遊覧と船上夕食会
5月13日 (月)	11:20	ハノーバー空港発(フランクフルト経由)
5月14日 (火)	(7:30)	関西空港着
	(8:46)	関西空港発
	(11:06)	広島駅着

()は日本時間ドイツの時差 -7時間: 現地時間+7時間=日本時間